

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール

ご使用にあたって、Software Release 1.0.1



Copyright © 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールご使用にあたって

本書では、Oracle の Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのリリースに関する最新情報と注意事項を説明します。各問題は、Service 要員の参照用に提供されている、内部の変更要求 (Change Request、CR) 番号と関連付けられています。必要に応じて、Service 要員は CR 番号を参照し、問題に関する追加情報を入手できます。

項目	リンク
一般情報	<ul style="list-style-type: none">• 3 ページの「このリリースでサポートされているファームウェア」• 3 ページの「BIOS ファームウェアで使用されている Intel Microcode と参照コード」• 3 ページの「ファームウェア更新」• 5 ページの「Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのマニュアル」• 5 ページの「Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールの Tools and Drivers DVD」• 4 ページの「サポートおよびパッチ」• 5 ページの「Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのマニュアル」
既知の未解決の問題	<ul style="list-style-type: none">• 7 ページの「ハードウェアの既知の問題」• 8 ページの「BIOS の既知の問題」• 9 ページの「ILOM の既知の問題」• 10 ページの「仮想マシンソフトウェアの既知の問題」• 13 ページの「Oracle Solaris の既知の問題」• 14 ページの「Oracle、Red Hat、および SUSE Linux の既知の問題」• 16 ページの「Windows の既知の問題」• 17 ページの「マニュアルの更新と正誤表」

一般情報

項目	
説明	リンク
サポートされているファームウェア	<ul style="list-style-type: none">3 ページの「このリリースでサポートされているファームウェア」
BIOS ファームウェアで使用されている Intel マイクロコードと参照コード	<ul style="list-style-type: none">3 ページの「BIOS ファームウェアで使用されている Intel Microcode と参照コード」
ファームウェア更新のダウンロードサイト	<ul style="list-style-type: none">3 ページの「ファームウェア更新」
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">4 ページの「対応するオペレーティングシステム」
サポート情報	<ul style="list-style-type: none">4 ページの「サポートおよびパッチ」
Tools and Drivers DVD	<ul style="list-style-type: none">5 ページの「Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールの Tools and Drivers DVD」
最新の製品マニュアルのダウンロードサイト	<ul style="list-style-type: none">5 ページの「Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのマニュアル」

製品情報

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.com/goto/x6270m2>

- 製品情報および仕様
- サポートされているオペレーティングシステム
- ソフトウェアとファームウェアのダウンロード
- サポートされているオプションカード
- サポートされている Network Express Module
- 外部ストレージオプション
- Tools and Drivers DVD イメージ
- Sun Installation Assistant DVD イメージ
- Sun VTS イメージ
- システムハンドブック

このリリースでサポートされているファームウェア

表 1 に、Software Release 1.0.1 でサポートされている ILOM および BIOS のファームウェアバージョンを示します。

表 1 Software Release 1.0.1 で使用可能な Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールファームウェア

Software Release	ILOM サービスプロセッサ (SP) ファームウェア	ILOM シャーシ管理モジュール (CMM) ファームウェア	X6270 M2 用 BIOS ファームウェア サーバーモジュール
1.0.1	3.0.9.15.a	3.0.6.11.b (r48988) 以降のリリース	08.04.01

BIOS ファームウェアで使用されている Intel Microcode と参照コード

表 2 に、Software Release 1.0.1 用の BIOS ファームウェアイメージで使用されている Intel Microcode と参照コードのバージョンを示します。

表 2 Software Release 1.0.1 用の BIOS ファームウェアで使用されている Intel Microcode と参照コード

Intel ソフトウェア	バージョン
Intel CPU Microcode	SRV_C_87
Intel RC	p2.70
Intel CPU 参照コード	1.06
Intel QuickPath Interconnect (QPI) 参照コード	1.85
Intel メモリー参照コード (MRC)	2.11

ファームウェア更新

最新の Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) と BIOS ファームウェアは、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールにインストールされた状態で出荷されています。このファームウェアを再インストールする場合やアップデート版が必要な場合は、次のサイトから Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール用ファームウェアを入手できます。

<http://www.oracle.com/goto/x6270m2>

対応するオペレーティングシステム

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールは、次のオペレーティングシステムのエディションをサポートします。

- Oracle Enterprise Linux 5.4 (64 ビット)
- Oracle VM 2.2.1
- Oracle Solaris 10 10/09 以降
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 Datacenter (64 ビット、Hyper-V 使用権付き)
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 Enterprise (64 ビット、Hyper-V 使用権付き)
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 Standard (64 ビット、Hyper-V 使用権付き)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter (64 ビット、Hyper-V 使用権付き)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (64 ビット、Hyper-V 使用権付き)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard (64 ビット、Hyper-V 使用権付き)
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5.4 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP3 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 (64 ビット)
- VMware ESX および ESXi 4.0 Update 1

上記の各オペレーティングシステムのインストール手順については、『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール Linux、仮想マシンソフトウェア、および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』(821-2394)を参照してください。

注 – Oracle Solaris 10 オペレーティングシステムは、サーバーのディスクドライブにプリインストール済みのオプションとして用意されています。インストール済みの Oracle Solaris 10 オペレーティング システムの設定手順については、『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール設置マニュアル』(821-2391)を参照してください。

サポートおよびパッチ

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのサポート情報とパッチは、次の場所で入手できます。

- <http://www.oracle.com/goto/x6270m2>

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールの Tools and Drivers DVD

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール用のツールとドライバ DVD は、注文に応じて出荷されます。この DVD には、サーバーモジュール用のデバイスドライバ、RAID 管理ソフトウェア、その他のソフトウェアユーティリティーが含まれています。この DVD のコピーが必要な場合や、この DVD で提供されているソフトウェアに対する更新が必要な場合は、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール用の最新のツールとドライバ DVD を次の場所からダウンロードできます。

- <http://www.oracle.com/goto/x6270m2>

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのマニュアル

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールの製品マニュアルと更新されたプロダクトノートは、次のマニュアル Web サイトで入手できます。

- <http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.x6270m2#hic>

既知の未解決の問題

項目	
説明	リンク
ハードウェアの既知の問題、説明、および対処方法	• 7 ページの「ハードウェアの既知の問題」
BIOS の既知の問題、説明、および対処方法	• 8 ページの「BIOS の既知の問題」
ILOM の既知の問題、説明、および対処方法	• 9 ページの「ILOM の既知の問題」
仮想マシンソフトウェアの既知の問題、説明、および対処方法	• 10 ページの「仮想マシンソフトウェアの既知の問題」
Oracle Solaris の既知の問題、説明、および対処方法	• 13 ページの「Oracle Solaris の既知の問題」
Linux の既知の問題、説明、および回避方法	• 14 ページの「Oracle、Red Hat、および SUSE Linux の既知の問題」
Windows の既知の問題、説明、および対処方法	• 16 ページの「Windows の既知の問題」
マニュアルの更新と正誤表	• 17 ページの「マニュアルの更新と正誤表」

ハードウェアの既知の問題

表 3 ハードウェアの既知の問題

CR	説明
CR 番号なし	<p>SAS-1 デバイスが装着されたシャーシに挿入すると、X6270 M2 サーバーモジュール REM が停止する場合があります</p> <p>問題: Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールを、SAS-1 Network Express Module (NEM)、または SAS-1 NEM と Sun Blade 6000 ディスクモジュールが搭載された Sun Blade 6000 モジュラーシステムシャーシに挿入すると、サーバーモジュールの SAS-2 RAID Expansion Module (REM) が停止する場合があります。</p> <p>影響を受けるハードウェアおよびファームウェア:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール • Sun Blade 6000 ディスクモジュール • Sun Blade 6000 Multi-Fabric Network Express Module • Sun Blade 6000 Virtualized Multi-Fabric 10GbE Network Express Module • Sun Blade 6000 Multi-Fabric 10GbE Network Express Module • Sun Blade 6000 ディスクモジュールファームウェアバージョン 5.04.03 <p>対処方法: この問題を防止するには、SAS-1 コンポーネント (SAS-NEM およびディスクモジュール) のファームウェアを、SAS-1 と SAS-2 の共存をサポートするファームウェアバージョンにアップグレードする必要があります。このアップグレードは、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールをシャーシに挿入する前に行う必要があります。少なくとも、Sun Blade 6000 モジュラーシステムシャーシで SAS-1 と SAS-2 の両方のデバイスが共存できるように、SAS-1 NEM および Sun Blade 6000 ディスクモジュール用のすべての SAS エクスパンダをファームウェアリビジョン 5.04.03 にアップグレードする必要があります。ファームウェアを取得してアップグレードを行う方法については、『SAS-1/SAS-2 Compatibility Upgrade Guide』(821-1800) を参照してください。</p>
6931323	<p>Intel 32Gb SSD と Seagate 500Gb HDD の動作を監視する LED が正しく機能しない</p> <p>問題: Intel 32Gb SSD および Seagate 500Gb HDD の緑色の動作状態 LED が点灯せず、ディスクが動作していない場合に常時点灯になります。ディスクが動作した場合には LED が点灯しますが、アイドル時は常時点灯になりません。</p> <p>影響を受けるハードウェア:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール • Sun Blade 6000 ディスクモジュール <p>対処方法: 利用可能な回避方法はありません。</p>

表 3 ハードウェアの既知の問題 (続き)

CR	説明
6879222	Virtualized Multi-Fabric 10GbE NEM で、100 m ケーブルを使用して 1 Gb/s で 1 Gb Ethernet コントローラを接続できない
	問題: オンボード Ethernet デバイスでは、1 Gb/s での接続の確立に失敗し、自動的に 100 Mb/s で接続を確立する場合があります。
	影響を受けるハードウェア: <ul style="list-style-type: none"> • Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール • Sun Blade 6000 ディスクモジュール
	対処方法: 66 m 以下の Ethernet ケーブルを使用します。また、Ethernet 接続を 100 Mb/s に強制することもできます。

BIOS の既知の問題

表 4 BIOS の既知の問題

CR	説明
6898588	SGX-SAS6-REM-Z のオプションカードを取り付けた状態で <CTRL-N> を押すと、ネットワークブートおよび SGX-SAS6-REM-Z の Option ROM の読み込みを省略できる場合がある
	SGX-SAS6-REM-Z のオプションカードがシステムに取り付けられており、シリアルコンソール上で <CTRL-N> を使用してネットワークブートを開始する場合、ネットワークブートが開始されない、または SGX-SAS6-REM-Z のオプションカードの Option ROM が読み込まれないことがあります。
	影響を受けるハードウェアおよびソフトウェア: <ul style="list-style-type: none"> • SGX-SAS6-REM-Z のオプションカード • Software Release 1.0.1
	対処方法: 次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • ILOM リモートコンソールを使用し、F12 を押してネットワークブートを開始する。 • シリアルコンソールを使用している場合は、<CTRL-E> を使用して BIOS の「起動デバイスの優先順位 (Boot Device Priority)」メニューを表示してから、目的の PXE アダプタ (ネットワークブートデバイス) を起動デバイスの優先順位のリストの先頭に移動する。すると、PXE アダプタが起動デバイスとして使用されるようになる。 • SGX-SAS6-REM-Z のオプション ROM コードの実行中、または実行後に <CTRL-N> を押す。次のバナーが表示されているときは、オプション ROM コードが実行されています。LSI Corporation MPT SAS2 BIOS. Copyright 2000-2010 LSI Corporation.

ILOM の既知の問題

表 5 ILOM の既知の問題

CR	説明
6928567	<p>JRE 1.6.0 U14、U15、または U16 を使用して ILOM リモートコンソールを起動できない</p> <p>問題: Web から Java Runtime Environment (JRE) の一部のビルドを使用して ILOM リモートコンソールを起動しようとした場合、「アプリケーションを起動できません」というエラーが返されます。</p> <p>影響を受けるオペレーティングシステム: ILOM 3.0.9.xx、JRE 1.6.0、U14、U15、または U16 を実行しているすべてのオペレーティングシステム。</p> <p>対処方法: JRE 1.6.0 U17 以降にアップグレードしてください。</p>
6923903	<p>SP の復元が部分的に成功し、エラーがログに記録される</p> <p>問題: シリアルコンソールを使用している場合、シリアルコンソールに関連するプロパティを復元できないので、次のようなメッセージが表示されます。 Config restore: Unable to restore property '/SP/serial/host/commitpending' Config restore: Unable to restore property '/SP/serial/external' このようなプロパティを復元できなかったため部分的なエラーになり、その結果として部分的なエラーに関する前述のメッセージが表示されます。これは不具合ではありません。</p> <p>影響を受けるソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none">• Software Release 1.0.1 <p>対処方法: シリアルコンソールからログアウトして、restore を再度実行してください。</p>

仮想マシンソフトウェアの既知の問題

表 6 仮想マシンソフトウェアの既知の問題

CR	説明
6927196	<p>Oracle Virtual Machine Manager 2.2 のインストールが 6 コア CPU 構成で失敗する</p> <p>問題: Oracle VM Manager 2.2 を 6 コア CPU を備えた X6270 M2 サーバーモジュールにインストールすると、インストールが失敗し、「データベースが使用できません」というメッセージを表示して終了する場合があります。</p> <p>影響を受けるハードウェアおよびソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none">• Oracle VM Manager 2.2• Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール• Software Release 1.0.1 <p>対処方法: この問題を解消する方法については、次の Web サイトでパッチとインストール手順を参照してください。 http://oss.oracle.com/oraclevm/manager/patch</p>

表 6 仮想マシンソフトウェアの既知の問題 (続き)

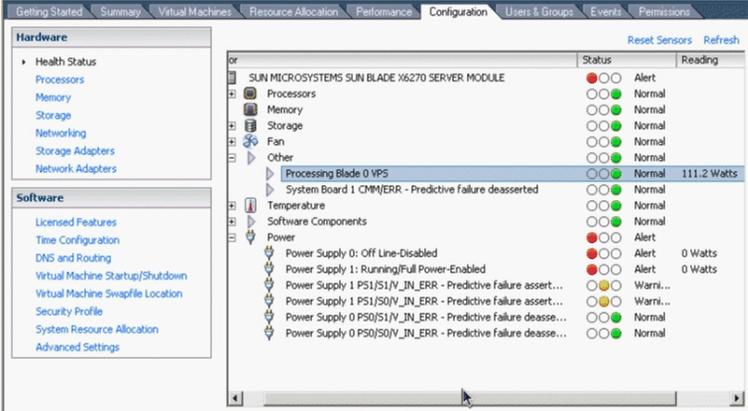
CR	説明																																																																								
6779112	<p>VMware ヘルスステータス画面により紛らわしい電源装置のステータスがレポートされる</p> <p>問題: VMware Virtual Infrastructure Client の「電源 (Power)」コンポーネントの「状態診断 (Health Status)」画面で、サーバー電源装置がオンラインで有効化されていても、電源装置が「オフライン無効 (Off-Line Disabled)」状態で 0 ワットであると表示されます。</p> <p>影響を受けるソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none"> VMware ESX 4.0 Update 1 <p>対処方法: VMware Virtual Infrastructure クライアントの「Health Status」画面で電源の正しいステータスを表示するには、使用可能なオプションのリストから「Other」コンポーネントをクリックし、ブレード n VPS (n はブレードの番号) を表示します。</p>  <table border="1" data-bbox="725 743 1249 1041"> <thead> <tr> <th>Component</th> <th>Status</th> <th>Alert</th> <th>Reading</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SUN MICROSYSTEMS SUN BLADE X6270 SERVER MODULE</td> <td>●○</td> <td>Alert</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Processors</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Memory</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Storage</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Fan</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Processing Blade 0 VPS</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td>111.2 Watts</td> </tr> <tr> <td>System Board 1 CMM/ERR - Predictive failure deasserted</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Temperature</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Software Components</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Power</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Power Supply 0: Off Line-Disabled</td> <td>●○</td> <td>Alert</td> <td>0 Watts</td> </tr> <tr> <td>Power Supply 1: Running/Full Power-Enabled</td> <td>○●</td> <td>Alert</td> <td>0 Watts</td> </tr> <tr> <td>Power Supply 1 PS1/S1/V_IN_ERR - Predictive failure asset...</td> <td>○●</td> <td>Warni...</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Power Supply 1 PS1/S0/V_IN_ERR - Predictive failure asset...</td> <td>○●</td> <td>Warni...</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Power Supply 0 PS0/S1/V_IN_ERR - Predictive failure deasse...</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Power Supply 0 PS0/S0/V_IN_ERR - Predictive failure deasse...</td> <td>○●</td> <td>Normal</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Component	Status	Alert	Reading	SUN MICROSYSTEMS SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	●○	Alert		Processors	○●	Normal		Memory	○●	Normal		Storage	○●	Normal		Fan	○●	Normal		Other	○●	Normal		Processing Blade 0 VPS	○●	Normal	111.2 Watts	System Board 1 CMM/ERR - Predictive failure deasserted	○●	Normal		Temperature	○●	Normal		Software Components	○●	Normal		Power	○●	Normal		Power Supply 0: Off Line-Disabled	●○	Alert	0 Watts	Power Supply 1: Running/Full Power-Enabled	○●	Alert	0 Watts	Power Supply 1 PS1/S1/V_IN_ERR - Predictive failure asset...	○●	Warni...		Power Supply 1 PS1/S0/V_IN_ERR - Predictive failure asset...	○●	Warni...		Power Supply 0 PS0/S1/V_IN_ERR - Predictive failure deasse...	○●	Normal		Power Supply 0 PS0/S0/V_IN_ERR - Predictive failure deasse...	○●	Normal	
Component	Status	Alert	Reading																																																																						
SUN MICROSYSTEMS SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	●○	Alert																																																																							
Processors	○●	Normal																																																																							
Memory	○●	Normal																																																																							
Storage	○●	Normal																																																																							
Fan	○●	Normal																																																																							
Other	○●	Normal																																																																							
Processing Blade 0 VPS	○●	Normal	111.2 Watts																																																																						
System Board 1 CMM/ERR - Predictive failure deasserted	○●	Normal																																																																							
Temperature	○●	Normal																																																																							
Software Components	○●	Normal																																																																							
Power	○●	Normal																																																																							
Power Supply 0: Off Line-Disabled	●○	Alert	0 Watts																																																																						
Power Supply 1: Running/Full Power-Enabled	○●	Alert	0 Watts																																																																						
Power Supply 1 PS1/S1/V_IN_ERR - Predictive failure asset...	○●	Warni...																																																																							
Power Supply 1 PS1/S0/V_IN_ERR - Predictive failure asset...	○●	Warni...																																																																							
Power Supply 0 PS0/S1/V_IN_ERR - Predictive failure deasse...	○●	Normal																																																																							
Power Supply 0 PS0/S0/V_IN_ERR - Predictive failure deasse...	○●	Normal																																																																							

表 6 仮想マシンソフトウェアの既知の問題 (続き)

CR	説明
6900741	<p>VMware ESXi 4.0 Update 1 をインストールしたあと、ローカルストレージドライブが表示されない</p> <p>問題: Sun Blade X6270 M2サーバーモジュールのローカルストレージドライブが Sun Blade RAID 0/1 RAID 拡張モジュール (X4607A-Z) に接続されている場合は、VMware ESXi 4.0 Update 1 をインストールしたあと、ローカルストレージドライブがシステムによって認識されません。</p> <p>Affected Software:</p> <ul style="list-style-type: none"> • VMware ESXi 4.0u1 <p>対処方法: ESXi のインストールが完了したあと、次の手順に従ってローカルストレージドライブをストレージインベントリに追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Virtual Infrastructure Client を使用して、選択したデータセンターに ESXi ホストを追加します。 2. ステップ 1 で追加した ESXi ホストを選択し、「Configuration」タブをクリックします。 3. ハードウェアボックス (画面の左上) で、「ストレージ (Storage)」を選択します。 4. 画面の右上で、「ストレージの追加... (Add Storage...)」リンクをクリックします。 5. 「ディスク/LUN ストレージタイプ (Disk/LUN Storage Type)」が選択されていることを確認し、「次へ (Next)」をクリックします。 6. ローカルストレージドライブに対応する vmhba エントリを強調表示し、「次へ (Next)」をクリックします。 7. 「空き領域を使用 (Use free space)」エントリを選択して、「次へ (Next)」をクリックします。 8. データストア名 (たとえば、local_storage) を作成し、「次へ (Next)」をクリックします。 9. 必要に応じて最大ファイルサイズを調整し、「次へ (Next)」をクリックします。 10. 提案されたディスクレイアウトを確認し、「完了 (Finish)」をクリックします。 <p>これでローカル VMFS データストアが使用可能になります。</p>

Oracle Solaris の既知の問題

表 7 Oracle Solaris の既知の問題

CR	説明
6925850	<p>Solaris の prtconf コマンドで、PCIe デバイスのスロット名とともに関連付けられた物理スロット番号が表示されない</p> <p>問題: Solaris の prtconf コマンドを使用して一部の PCIe デバイスのシステム構成情報を表示したとき、物理スロット番号がスロット名とともに表示されません。たとえば、以下に示す構成情報では、最初の 2 つのスロット名には関連付けられた物理スロットがありますが、それ以外のスロット名にはありません。</p> <pre>% prtconf -pv grep slot slot-names: 00000001.65696370.00000034 physical-slot#: 00000004 slot-names: 00000001.65696370.00000031 physical-slot#: 00000001 slot-names: 00000001.746f6c53.00000035 slot-names: 00000001.746f6c53.00000032 slot-names: 00000001.746f6c53.00000036 slot-names: 00000001.746f6c53.00000033</pre> <p>影響を受けるオペレーティングシステムおよびソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Oracle Solaris 10 10/09 • Software Release 1.0.1 <p>対処方法: この問題の対処方法はありません。この障害に対するパッチを入手できるかどうか確認してください。</p>
6767389	<p>Oracle Solaris で特定の ExpressModule のホットインサートがサポートされていない</p> <p>問題: Solaris 10 10/09 を使用している場合は、次の ExpressModules をホットインサートすることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sun Fibre Channel - Sun StorageTek Dual 4Gb FC Dual GbE HBA (SG-XPCIE2FCGBE-Q-Z) • Fibre Channel - Sun StorageTek Dual 4Gb FC Dual GbE HBA, Emulex (SG-XPCIE2FCGBE-E-Z) • Sun Quad Gigabit Ethernet Module (X7284A-Z) <p>影響を受けるオペレーティングシステムおよびソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Oracle Solaris 10 10/09 • Software Release 1.0.1 <p>対処方法: 関係するモジュールを挿入し、ExpressModule が認識されるようにシステムを再起動します。</p>

Oracle、Red Hat、および SUSE Linux の既知の問題

表 8 Oracle、Red Hat、および SUSE Linux の既知の問題

CR	説明
6907462	<p>EHCA ドライバの読み込みに関するエラーメッセージが記録される</p> <p>問題: OFED パッケージグループがインストールされている場合、InfiniBand EHCA ドライバの読み込みに関する良性のエラーメッセージが生成されます。このエラーが記録されるのは、サポートされている InfiniBand の IO デバイスが EHCA ドライバを使用しないためです。</p> <p>影響を受けるオペレーティングシステム: SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11</p> <p>対処方法: サポートされている InfiniBand デバイスは、<code>mlx4_core</code> デバイスドライバを使用します。EHCA ドライバに関するエラーメッセージを無視するか、構成ファイル <code>/etc/infiniband/openib.conf</code> を編集して EHCA_LOAD=yes を EHCA_LOAD=no に変更し、EHCA ドライバの自動読み込みを無効にしてください。</p>
6914173	<p>PCIEHP ホットプラグデフォルトドライバが SLES10 SP3 でサポートされていない</p> <p>問題: SLES10 SP3 は、PCI Express のルートポートに対する割り込みを無効にしています。その結果、デフォルトドライバオプションを使用すると、PCIEHP ホットプラグが正しく機能しません。ホットプラグアクションを試みた場合は、USB デバイスが意図せず無効になる可能性があります。</p> <p>影響を受けるオペレーティングシステムおよびソフトウェア:</p> <ul style="list-style-type: none"> • SUSE Linux Enterprise Server 10 SP3 (SLES10 SP3) • Software Release 1.0.1 <p>対処方法: 次のパラメータで <code>pciehp</code> ドライバをロードする必要があります。 <code>pciehp_poll_mode=1</code> 例: <code>modprobe pciehp pciehp_poll_mode=1</code></p>

表 8 Oracle, Red Hat, および SUSE Linux の既知の問題 (続き)

CR	説明
6908037	<p data-bbox="498 244 1065 269">InfiniBand ドライバで MSI-X 割り込みを使用できない</p> <p data-bbox="498 288 551 312">問題:</p> <p data-bbox="498 322 1315 374">SLES 10 SP3 の InfiniBand ドライバ <code>mlx4_core</code> では、CPU の数が多いシステム場合に MSI-X 割り込みを使用できません。</p> <p data-bbox="498 394 1118 418">影響を受けるオペレーティングシステムおよびソフトウェア:</p> <ul data-bbox="498 428 743 480" style="list-style-type: none"> • SLES 10 SP3 • Software Release 1.0.1 <p data-bbox="498 505 596 529">対処方法:</p> <p data-bbox="498 539 1305 591">次のいずれかの方法を使用して、MSI-X 割り込みを無効にして InfiniBand ドライバを読み込みます。</p> <ul data-bbox="498 602 1310 654" style="list-style-type: none"> • 次のコマンドを入力して、MSI-X 割り込みを無効にしてドライバを読み込みます。 <code>modprobe mlx4_core msi_x=0</code> • ファイル <code>/etc/modprobe.conf.local</code> に次の行を追加して、ドライバを読み込んだときに <code>mlx4_core</code> で MSI(X) が使用されないようにします。<code>options mlx4_core msi_x=0</code>
6915768	<p data-bbox="498 762 1132 786">システムの再起動中にカーネルパニックが発生する可能性がある</p> <p data-bbox="498 805 551 829">問題:</p> <p data-bbox="498 840 1319 892">システムのウォームリブート中に、カーネルパニック <code>__cpufreq_governor</code> が断続的に発生する場合があります。</p> <p data-bbox="498 911 1118 935">影響を受けるオペレーティングシステムおよびソフトウェア:</p> <ul data-bbox="498 946 868 1032" style="list-style-type: none"> • Oracle Enterprise Linux (OEL) 5.4 • Red Hat Linux (RHEL) 5.4 • Software Release 1.0 <p data-bbox="498 1057 596 1081">対処方法:</p> <p data-bbox="498 1091 1308 1144">この問題を解決するためのパッチが発行されています。次の URL からパッチをダウンロードできます。</p> <p data-bbox="498 1154 1308 1206">https://bugzilla.redhat.com/attachment.cgi?id=336296&action=diff</p>

Windows の既知の問題

表 9 Windows の既知の問題

CR	説明
6914898	Windows Server 2008 SP2 および R2 64 ビットでホットプラグの再挿入が失敗し、コード 35 のエラーが発生する
	問題: Windows Server 2008 SP2 および 2008 R2 では、特定の ExpressModule のホットインサートが現時点ではサポートされていません。次の ExpressModule をホットインサートすることはできません。 <ul style="list-style-type: none"> • SG-XPCIE2FCGBE-Q-Z - Sun StorageTek Dual 4Gb FC Dual GbE HBA, QLogic • SG-XPCIE2FCGBE-E-Z - Sun StorageTek Dual 4Gb FC Dual GbE HBA, Emulex • SG-XPCIEFCGBE-8Q-Z - Sun StorageTek Dual 8Gb FC Dual GbE HBA, QLogic • SG-XPCIEFCGBE-E8-Z - Sun StorageTek Dual 8Gb FC Dual GbE HBA, Emulex • X7284A-Z - Sun Quad GbE Express Module
	影響を受けるオペレーティングシステム: <ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 Service Pack 2 (64 ビット) • Windows Server 2008 R2
	対処方法: 関係するモジュールを挿入し、認識されるようにシステムを再起動します。
6879304	ILOM Power Management で電力を制限している場合、Windows Server 2008 R2 によってシステムイベントログに警告メッセージが生成される
	問題: ILOM Power Management 機能で電力を制限している場合、Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムによって、プロセッサが制限されていることをユーザーに知らせる警告メッセージがシステムイベントログに生成されます。イベントの例: The Speed of Processor xx in group x is being limited by system firmware. The processor has been in this reduced performance state for xxxx seconds since last report.
	影響を受けるハードウェア、オペレーティングシステム、およびソフトウェア: <ul style="list-style-type: none"> • Power Management をサポートしているすべての Sun サーバー • Windows Server 2008 R2 • Software Release 1.0.1
	対処方法: 何も必要ありません。これらは予期されるイベントであり、問題を示すものではありません。

マニュアルの更新と正誤表

表 10 マニュアルの更新と正誤表

CR	説明
CR 番号 なし	マニュアルに記載されている HBA がまだ利用できない
	問題: 次のホストバスアダプタ (HBA) は、利用可能なオプションとして『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール Windows オペレーティングシステムインストールガイド』(821-2397-10) に記載されています。 <ul style="list-style-type: none">• SGX-SAS6-R-EM-Z 上記の HBA は、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールではまだ利用できません。
	影響を受けるソフトウェア: <ul style="list-style-type: none">• Software Release 1.0.1
	対処方法: 適用不可

